

会議録（１）

会議の名称	第４回 飯能市介護保険事業計画等策定委員会
開催日時	令和６年１月１８日（木） 開会 午後１時３０分 閉会 午後２時１０分
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館２階 会議室２
議長氏名	小川晃男
出席委員	星野成美 小川晃男 大野 康 双木和宏 池田徳幸 鈴木正男 木崎幸長 井上 満
欠席委員	渡辺裕子 熊埜御堂収
説明者の職氏名	福祉子ども部長 内沼和彦 参事兼介護福祉課長 関根浩司 主幹 加藤かおり 主幹 藤島弘介 主査 星井華子 主査 栗島祐介
傍聴者の数	０人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	○飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画（第９期計画）素案 ○第９期介護保険料の設定について
事務局職員職氏名	福祉子ども部長 内沼和彦 参事兼介護福祉課長 関根浩司 保険料担当 主幹 加藤かおり 地域包括ケア担当 主幹 藤島弘介 介護予防推進担当 主査 星井華子 認定・給付担当 主査 栗島祐介 保険料担当 主査 小川達也

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画（第9期計画）素案について
 - 2) 第9期介護保険料の設定について
- 4 その他
- 5 閉会

会議録（3）

発言者	発言内容
	1 開会
	2 あいさつ 小川委員長
	3 議事
事務局	それでは、議事に入らせていただきます。小川委員長に議長となつていただきます。よろしくお願いいたします。
議長(委員長)	はじめに、(1)「飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画（第9期計画）素案について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき、事務局にて説明)
議長	これより質疑に入ります。質疑はございますか。 (質疑なし)
議長	質疑がないようですので、次に、「(2) 第9期介護保険料の設定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき、事務局にて説明)
議長	質疑はございますか。第8期計画から基準額を据え置きで頑張るということでした。
委員	前回の第8期計画から第9期計画で11段階目を2つに分けた関係だと思いますが、12段階が620万以上720万円未満ということで年間の負担額が増えるのですね。ここに当てはまる人は大変だなという感想です。
事務局	ご指摘のとおりでございます。元々飯能市の区分はそこだけ独自に設定してい

	<p>ましたが、今回、国の方に合わせるとご指摘の通りになります。ただ、今後、給付額が上がっていく中でさらなる乗率の改正があった場合に、今回、合わせておかないと、次回、基準額も上げてさらに乗率も上げるとなると、より多くのご負担をお願いすることになってしまうので、苦渋の決断としてそのようにさせていただきました。</p>
議長	<p>準備基金5億5千万円の取り崩しですが、基金が枯渇することはないのですか。</p>
事務局	<p>前は準備基金7億円のうち4億7千万円を投入して保険料を据え置きにしました。本来の基金は、給付費が年々上がっていくことを前提に、3年間の中で1年目は保険料に多少の余裕があって、2年目は相殺されて、3年目に足りなくなる分を1年目の余剰を消化していくという、3年サイクルで均衡させる考え方となっています。ただ、今期は介護予防事業の効果などによる要介護認定率の低さや、要介護認定者の中でも軽度者の方が増えてきているために給付費がさほど伸びませんでした。そのため、前の3年間で基金は増額となり、11億円になっています。今後、よほど給付費が伸びなければ枯渇する心配はありません。また、第1号被保険者の保険料は給付費全体の23%なので、給付費が例えば100億円増えても保険料は23億円増と、それほど割合的に大きく保険料に求められる訳ではないこともあって、基金が枯渇する心配はないと思います。</p>
議長	<p>他に質疑はございますか。</p> <p>(質疑なし)</p>
議長	<p>本日の予定していた議事につきましては全て終了いたしました。 これをもちまして、議長の職を降ろさせていただきます。 委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>4 その他 —事務局から連絡—</p> <p>5 閉会 あいさつ</p>
副委員長	<p>どうもお疲れ様でした。パブリックコメントが今日までですが、最終的には議会を通して成立する計画ですから、そこについては、この委員会は、ノータッチということでよろしいですか。</p>

事務局	<p>パブリックコメントにつきましては、1月17日現在、いただいたご意見等はございませんでした。今後、ご意見をいただいた場合は、介護福祉課内にて内容を協議させていただき、報告等をさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、来週、全議員に説明して、多少文言を直したりとかありますが、できあがった計画書についてはご報告させていただきます。</p>
副委員長	<p>議会の意見も反映させるということですが、私たちの役割はここまでとなります。この策定委員会が始まる頃には色々な噂があって、要介護1～3は支援になって、市町村丸抱えになるとかもありました。この件については、この3年間はそのままで、今後は大変になるだろうと心配をしています。小川先生からお話があったとおり、色々な災害があるからこそ、平時の日常の大切さを感じます。第9期の介護保険事業計画が策定されましたが、これは市民の皆さんが安心して暮らせる基盤の計画になるので、これを災害の時のことも含めて力を合わせ、その根拠となる計画として、よい計画が出来たと思います。皆さま本当にありがとうございました。</p>
委員長	<p>委員の皆様には、長い間出席をしていただいて感謝申し上げます。介護保険報酬の改定率が1.59%、医療保険は0.88%。それを看護師や介護士の報酬をアップするところに使えという国からの指示が出ています。そうでなくても、介護職に関わる方、医療に関わる方、人気がなくて人が集まらないです。さらに、報酬を上げていってあげないと、介護保険制度の保険はともかく、現場に人がいなくなります。危機的な状況のようで、どうやってクリアしていくかは皆さんのお知恵を拝借することになるかと思います。今後とも皆様のご協力をいただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	